令和４年度 高校数学入門　前期	提出期限 令和４年５月15日	名前			観点別評価			評価
第１回レポートの解き方 第１章　数の計算 １　整数 教科書 p.８～p.15	ＨＲ番号　　組　　番	再提出１回目	書き直し	提出期限内	①	②	③	
				提出期限後1ヶ月以内				
	学籍番号	再提出２回目	空欄有り	提出期限後1ヶ月超				

注意 レポートは単に答を求めるだけではなく，教科書をきちんと理解できたか確認するものです。途中式が教科書通り書けていない場合は再提出とします。

1 【観点①③】

整数

ものの個数や順番を表す数に１，２，３，…という数を使う。

このような数を［自然数］という。これに，０と負の整数

…，−3，−2，−1 を合わせて，［整数］という。

整数の性質

ある数 a に自然数をかけてできる数を，a の［倍数］といい，

$a\times$(自然数) の形で求まる。

ある数 a を割り切ることのできる数を，a の［約数］という。

１より大きい数で，１とその数自身以外に約数を持たない自然数を

［素数］という。

ある数を 素数だけのかけ算で表すことを

［素因数分解］という。

注　［　　］に最も適する語句を記入すること。

2 【観点②③】

次の倍数を，小さい方から順に5つ求めなさい。

(1)　9 の倍数

9×1　9×2　9×3　9×4　9×5

{ 9，18，27，36，45 }

(2)　18 の倍数

18×1　18×2　18×3　18×4　18×5

{ 18，36，54，72，90 }

3 【観点②③】

次の約数を，求めなさい。

(1)　10の約数

2×5

{ 1，2，5，10 }

1×10

(2)　12の約数

{ 1，2，3，4，6，12 }

3×4　2×6　1×12

(3)　25の約数

{ 1，5，25 }

5×5　1×25

4 【観点①③】

30の倍数を，小さい方から順に 5つ求めなさい。 また，30の約数をすべて求めなさい。

30×1　30×2　30×3　30×4　30×5

30 の倍数・・・{ 30，60，90，120，150 }

5×6

30 の約数・・・{ 1，2，3，5，6，10，15，30 }

3×10　2×15　1×30

5 【観点②③】

すだれ算を用いて，次の数を素因数分解し，その約数を求めなさい。

(1)　30

2 | 30
3 | 15
　　5

30＝2×3×5

約数は　1，2，3，5，6，10，15，30

(2)　42

2 | 42
3 | 21
　　7

42＝2×3×7

約数は　1，2，3，14，21，42

2)　63

3 | 63
3 | 21
　　7

63＝3×3×7

約数は　1，3，7，9，21，63

6 【観点②③】

すだれ算を用いて，次の各組を素因数分解し，最大公約数と最小公倍数を求めなさい。

(1)　12，20

2 | 12　20
2 |　6　10
　　3　5

最大公約数

12＝2×2×3
30＝2×2　×5
2×2　＝4
2×2×3×5＝60

最大公約数は 4
最小公倍数は 60

(2)　24，30，36

2 | 24　30　36
3 | 12　15　18
2 |　4　5　6
　　2　5　3

最大公約数

最小公倍数

24＝2×2×2×3
30＝2　×3　×5
36＝2×2　×3×3
2×2×2×3×3×5＝360

最大公約数は 6
最小公倍数は 360

7 観点②③】

次の各組の最小公倍数を求めなさい。

(1)　4，6

4＝2×2
6＝2　×3
2×2×3

2 | 4　6
　| 2　3

この 2 は共通です。

最小公倍数は 2×2×3＝12

(2)　42，63，126

42＝2　×3　×7
63＝　3×3×7
126＝2　×3×3×7
2　×3×3×7＝126

3 | 42　63　126
2 | 14　21　42
7 |　7　21　21
　　1　3　3

この 3，7は共通です。

最小公倍数は 2×3×3×7＝126